

コミュニティ助成事業評価申請書（ア.自主防災組織育成助成事業）

申請者	団体名	〇〇防災会		
	結成年月日	令和△△年〇〇月〇〇日		
	代表者職・氏名	白井 太郎		
	住所・電話番号			
	会員数	□□世帯 □□名（令和8年4月1日現在）		
助成（購入）品	購入する資機材を記載すること。 【記載例】： ① 発電機2台 ②折り畳み式リヤカー2台 ③・・・・・・・・ ※見積書を添付すること。購入した備品すべてに指定の宝くじ広報表示を印刷又はシール等によって行い、必ず見積書に明記すること。			
助成申請額	総事業費	助成金額		自己負担額
	2,250,000円	2,000,000円		250,000円
事業効果	現状 （○をつける）	☒ 全て新規 ☐ 一部買換え、追加 ☐ 全て買換え、追加		
	令和8年度 防災訓練実施 予定回数	2回		
	購入する防災資 機材を防災訓練 で活用するか （○をつける）	☒ 活用する ☐ 活用しない		
	地域住民参加型 の防災訓練を行 うか （○をつける）	☒ 行う ☐ 行わない		
	購入する防災資 機材の保管場所	〇〇防災会防災倉庫 ※写真を添付すること		
防災資機材を購 入する目的及び 助成を必要とす る理由	何のために防災資機材を購入するのか、なぜ助成が必要なのかを記載すること。 【記載例】： 当防災会の防災訓練での啓発及び災害時のための防災資機材が不足しているため購入したい。 購入にあたっては、防災資機材を追加・更新のための予算が不足しているため、助成金を活用して購入したい。			

コミュニティ助成事業評価申請書（ア.自主防災組織育成助成事業）

防災資機材購入により期待される効果	記載例： 災害時における非常用発電機の確保、物資の運搬手段の確保により、防災体制の強化が図られる。また、これらの資機材を活用した防災訓練を行うことにより、地域住民の防災意識の向上等が図られる。 ※具体的に記入すること			
防災訓練の実績	実施年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度
	訓練回数及び参加対象 (回数を記入)	・防災会役員を対象とした訓練を実施 ① <u>1</u> 回 ・地域住民参加型の訓練を実施 ② <u>1</u> 回	・防災会役員を対象とした訓練を実施 <u>0</u> 回 ・地域住民参加型の訓練を実施 <u>1</u> 回	・防災会役員を対象とした訓練を実施 ①② <u>2</u> 回 ・地域住民参加型の訓練を実施 ③ <u>1</u> 回
	参加人数 (訓練毎に人数を記入すること)	① 10 名 ② 50 名	40 名	① 10 名 ② 8 名 ③ 35 名
	訓練の内容 (※消防署・防災団体等の協力を得て実施した場合はその旨を併せて記載すること)	どのような訓練を実施したか記入すること。 記載例： ①救命講習及び応急手当（消防署指導） ②避難訓練、防災講習会…等		
防災資機材点検状況	点検回数	(1 回／年)	(1 回／年)	(1 回／年)

注：購入する備品すべてに指定する宝くじ広報表示を印刷又はシール等により表示すること。見積書に明記すること。なお、建物、持ち運びできない機械設備及び消耗品は、補助対象外。

注：次の書類を添付すること。

- 見積書、カタログ（カラーコピー）等
- 防災活動の実施状況がわかるもの
- 保管場所の位置図及び写真
- 自主防災組織の規約の写し
- 令和8年度事業計画及び予算書の写し

注：事業計画及び予算書は、自主防災組織としての事業計画及び予算が明記されていること。

柱：本様式の行間が不足する場合は、行間を広げて記入すること。（枚数が増えてもかまわない）